

新学期がはじまって2ヶ月あまり、つぼみさんたちをはじめ新人園のおともだちもすっかり集団生活のリズムに慣れてきました。あそびの時間も教室やホールでの設定の時間からと十分うかがえます。さすがと思わせるのが進級児たちです。教師から指示される事なく自分達の課題に向う姿は、新しいおともだちの見本になっております。

■つぼみさんの教室の新築工事は順調に進んでおります。

現在の所、外装の工事から内装へと変って10日以上経っており、日も追う毎に変化が見られてワクワクしております。

幼稚園の園舎も新築の際は園児の健康を考え、木にこだわり、あそびの心が広がる

空間を、そして幼稚園らしくない雰囲気を持ちたく平成13年に竣工し、平成17年に「札幌市景観賞」を受賞しております。

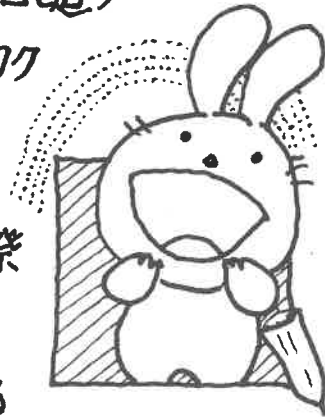
つぼみさんの園舎も、健康を考えて木にこだわっております。

更に園庭を介しての本園舎との

つながりや他に一本道を通してのつながりにも心のこだわりを持ってあります。

この地域にはあまり見られない建物です。もちろん幼稚園としてもこれ迄に

無い雰囲気を持つ園舎になるでしょう。外壁は緑色のガルバリウム鋼板で囲み、西側の一面を木を柱にして、デッキを降りると人工芝が年少組デッキへつながります。



お利口さん脳の育ち

心の育ちシリーズ

身体の動きをコントロール出来ない赤ちゃんが、次第に首が空りお座りしてハイハイできるようになり、1歳ごろから朝に目覚め、夜に眠り、起きている間は姿勢を保ち、身体を動かす、食事と三回とるようになる。更に喜怒哀楽を声や表情で表現できるようになる。これが「からだの脳」の育ちです。生後5ヶ月ごろから育つそうです。

次に1歳ごろから「お利口さん脳」が育って行きます。言語と思考を司る脳です。動物と違って人間ならではの機能が沢山詰まった部分です。

正に幼児期の今、こどもたちはこの脳を育てているし、これから18歳までの時間をかけて育てて行くのです。

「からだの脳」が育ち、「お利口さん脳」も育ってきます。この大切な二つの脳を上手に繋げる役目をするのが「心の脳」なのです。すなわち、1階が「からだの脳」で、2階が「お利口さん脳」で、階段が「心の脳」ですね。

生活の中での喜怒哀楽の感情をそのまま態度や行動に直ぐに出さず、思考してから出すようにしてくれるのが「心の脳」なのです。

さあ!! どのようにしたら育つのでしょうか!?